



プログラム名	プカプカ・サラサラ・ザー！							
対象年齢	年中・年長（4～6歳）							
ねらい メッセージ	波の不思議さ・力強さに気づこう							
	発見・体感できること ・浜辺に落ちているものの形・色・感触・種類 ・波の力強さ・砂の感触							
参加者のめやす	幼児 25人 / 支援者 3人							
実施時間	30分							
フィールド (実施場所)	森・社寺林・公園		山・里		川		湖・池	
	田畑・野原		園庭・公園					
実施可能時期	春・夏		秋		冬			
自然を感じるためのヒント	顔		手		顔		顔	
時 間	活 動			●配慮・アドバイス◎アレンジ				
5分	①浜に落ちているもので自分の好きなものを集める (枯葉・枝・石・その他) ・仲間集めをする (同じ種類のものを集める)			●「こんな素敵なものを拾ってきたよ」などと実際の物を見せて、探す意欲を高めます。 ●子ども達の見つけた物を「『素敵なもの』『楽しいもの』『不思議なもの』を見つけたね」などと認める言葉がけをしましょう。 ●見つけたものの中で、琵琶湖や浜に必要なでないもの・ゴミとなるものは何かを考え、ビニールの袋等に入れ持ち帰ります。				
								

時間	活動	●配慮・アドバイス◎アレンジ
15分	②集めたものを波打ち際に積んであそぶ (好きなものを選んでチームに分かれる) 木チーム 石チーム 砂チーム など ・高く積む ・友達と一緒に、砂を集めて山を作る ・山が波で崩れていく様子を見る	●いろいろなものを積んで山のようにしていく楽しさを知らせます。高く積むだけでなく倒れないように工夫することを大切にします。  ●波が来たらどうなるかを考え、波の力強さに気づけるようにします。 ●積んだものが崩れていく様子を見たり、崩れないようにしたり工夫します。
5分	③浜辺で絵を描く ・楽しく琵琶湖であそんだ思い出として砂に絵を描く	●指や枝で描いたり、石や藻などを使って描きません。 
5分	④ふりかえり	●波が絵を消したり、砂山を崩したりする力強さや、波による砂の模様など、波の不思議さについて話し合ひましょう。 ◎津波や高潮の脅威について考えてみよう。
【異年齢への対応】 ◆年少：・波打ち際に親子で座って波を感じます。 ・山を作ったりこわしたりしてあそびます。 ・指や枝で砂に絵を描きます。 ・親が子どもをおんぶして水に入ってみます。		
【園や家庭に帰ってから】 ◆その場に必要のないものはできるだけ持ち帰るなど、自然や公共の場をきれいにすることの大切さを知らせていきます。また、自分にとっていらぬものがゴミでなく、自然の中にあつて不自然なものがゴミであることとらえ、人間がゴミを出していることを改めて考えましょう。 ◆クラスだよりなどで、子どもと共にどんなことを大切に活動（保育）しているか保護者に伝え、共通理解できるようにしましょう。		
準備物・教材等	・ゴミ袋 ・サンダル	